

これからのメディアアーティスト像

これからのメディアアーティストは、グラフィクス、映像、造形、サウンド、エレクトロニクス、メカトロニクス、ソフトウェア、ネットワーク、等の個別の専門領域のいくつかにおいて卓越した知識と経験とノウハウとセンスを持つことは当然として、さらにそれらを融合・統合したり関連領域の専門家とのコラボレーションにより総合的なシステムデザインを実現する能力を身につけることが重要であると考えます。このためには、よりアンテナを広げ、好奇心と感度を拡張させ、新しいことにチャレンジすることで体験的に自分を向上させることが一番であると思います。

「虎の穴」とは

静岡文化芸術大学デザイン学部技術造形学科は、このような視点を念頭にカリキュラムを構成した新しいコースですが、一般的な大学教育の枠組みという制約もあり、標準的な履修モデルに従った教育体系では、具体的な作品創作などのステップは3回生後半まで待たされる、という制度になっています。しかしこの一方で、才能と意欲ある学生がより早い段階から先進的なアプローチを学ぶ、いわゆる「飛び級」システムの有用性も広く知られています。技術造形学科の場合、入試において基本的な能力や意欲を認められてきている学生がほとんどであり、この芽を詰むよりも早期から伸ばすことを重視したい、というのが、この私的ゼミ「虎の穴」の発想の原点です。

ここでは、マスプロ的に誰にでも平等な教育を行う標準的なカリキュラムを離れて、具体的なターゲットを設けて、実際にデザイナー、制作者、ディレクタ、コーディネータ等として、コラボレーションを中心とした作品創作発表活動を行うことにより、広範な関連領域を知ること、自分の新たな可能性を発見することを大きな目標としています。参加資格は、前向き・意欲的であることだけです。メンバーはそれぞれのプロジェクトごとに「期」を区切って集め、適宜増減します。

プロジェクト予定(暫定) 参加希望者随時募集中

[第1期] 2000.05.28 SUAC一般公開日

インタラクティブ・マルチメディア・インスタレーション作品「森海(しんかい)」展示

[第2期] 2000.09.16-17 静岡大学浜松キャンパス 情報処理学会・電子情報通信学会シンポジウム

マルチメディア・パフォーマンス作品(長嶋) 公演

[第3期]

2000.12 国立音楽大学 情報処理学会音楽情報科学研究会・インターカレッジコンサート

学生によるマルチメディア(Computer Music)作品発表